

微量の PCB を含む廃棄物の焼却実証試験の実施について



The Knights

環境省は、微量 PCB を含む廃棄物の焼却実証試験を実施することを発表しました。

PCB を使用していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むものが大量に存在することが判明しており、環境省はこれらの処理体制の整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量 PCB 汚染廃電気機器等が安全かつ確実に処理できることを確認してきました。

今回、新たに関係自治体の協力を得て実施された微量の PCB を含む廃棄物の焼却実証試験の内容については、以下の通りです。

①エコシステム秋田株式会社

・期間:平成 22 年 3 月 9 日～3 月 11 日

・内容:数 10ppm 程度の PCB を含む絶縁油を使用していた変圧器、すでに絶縁油が抜かれている OF ケーブル並びに微量の PCB を含む絶縁油を焼却処理し、排ガス中の PCB 濃度等を分析することで、これらが適正に処理されていることを確認。本試験では燃焼ガスを 850℃以上で 2 秒以上滞留させて実施。

②神戸環境クリエート株式会社

・期間:平成 22 年 3 月 15 日～3 月 17 日

・内容:微量 PCB 汚染廃電気機器等(微量の PCB を含む絶縁油)及び微量の PCB を含む廃棄物(汚泥)を焼却処理し、処理後の燃え殻及び排ガス中の PCB 濃度等を分析することで、これらが適正に処理されていることを確認。本試験では燃焼ガスを 1,100℃以上で 2 秒以上滞留させて実施。

環境省では今後も、協力が得られる他の施設において、焼却実証試験を実施していく予定としています。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2010 年 3 月 2 日、3 月 11 日付 環境省報道発表資料

品質検査箇所 神村悠介